

東部保健所 国東地域(国東市・姫島村)感染症情報

令和7年第26週(6月23日～6月29日)

・感染性胃腸炎に注意しましょう

東部保健所国東地域では、感染性胃腸炎の報告数が先週より増加しました。引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎はウイルスや細菌による胃腸の疾患で、一年を通じて発症します。気温が高くなると、細菌性の胃腸炎が増加します。症状は病原体によって異なりますが、発熱、下痢、腹痛、悪心、嘔吐などです。多くの場合、患者との接触や、汚染された食品によって経口的に感染します。予防には流水・石けんによる手洗い、手指消毒、食品の十分な加熱などが大切です。

・咽頭結膜熱に注意しましょう

東部保健所国東地域で、咽頭結膜熱の報告がありました。咽頭結膜熱は夏にかけて増加する傾向にあるため注意が必要です。

咽頭結膜熱は飛沫感染や接触感染で感染します。発熱、のどの痛みや結膜炎などの症状が現れる「夏かぜ」の一種で、小児に多い感染症です。予防には手洗い、うがい、タオルの共有を避けることが大切です。

・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)に注意しましょう

東部保健所国東地域で、流行性耳下腺炎の報告がありました。

潜伏期間は2～3週間で、耳の下の腫れや痛み、発熱などが現れます。飛沫感染や接触感染で感染し、感染力は強いといわれています。小児に多い感染症ですが、成人が感染すると重症化することもあるため注意が必要です。予防には予防接種（任意予防接種）が有効といわれています。

(第26週)

疾患名 年齢	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
0歳																	
1～3歳				2.00		1.00						4.00					
4～6歳					1.00	1.00											
7～9歳						3.00											
10～14歳						1.00											
15～19歳																	
20歳以上	0.50	0.50															
今週	0.50	0.50		2.00	1.00	6.00						4.00					
70歳以上(再掲)		0.20															
先週		1.00			1.00	3.00											

指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。
(定点医療機関数:インフルエンザ/COVID-19定点 2、小児科定点 1)

疾患ごとの警報・注意報の基準値

※単位は定点あたり報告数

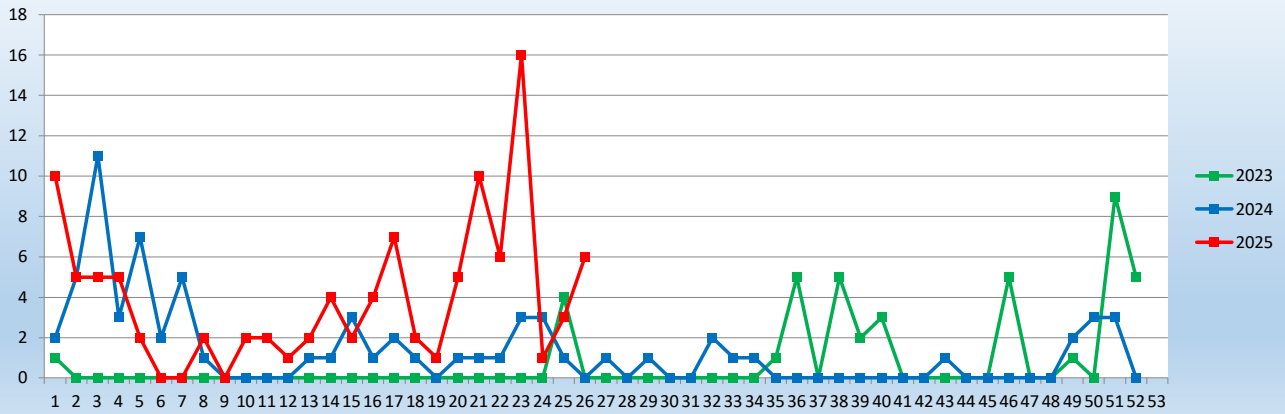
	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—
流行性角結膜炎	8.0	4.0	—

警報レベル:大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。

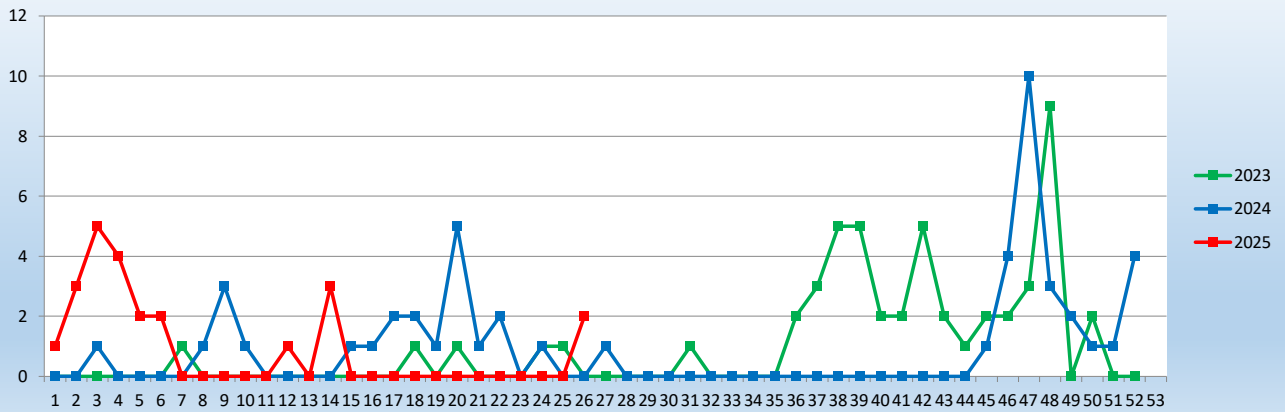
注意報レベル:流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

過去3年間の発生動向(国東地域)

定点当たり報告数 感染性胃腸炎



定点当たり報告数 咽頭結膜熱



定点当たり報告数 流行性耳下腺炎

